

フラッシュ暗算等多彩な事業を展開

八戸珠算連盟「40周年記念式典」

今後の更なる発展を誓う

八戸珠算連盟（中屋敷晃会長）は1月18日、八戸グランドホテルで創立40周年記念式典並びに記念祝賀会を開催。日本珠算連盟勤続表彰や、記念講話等が行われた。記念式典には会員の他、関係者等約30名が出席し、40周年を祝った。

式典では、最初に中屋敷会長が「我々はこの40年間、珠算の隆盛期と氷河期の大変な時代を経験



珠算連盟会員、関係者が一堂に会した40周年記念式典

した。現在、珠算は子供達の能力開発に有効との研究成果が発表される等、追い風が吹いている。八珠連に目を向ければ、八戸地方珠算競技大会が今年で50回目を迎える等、一つの節目を迎える事業が目立つ。本日は、皆様の苦勞を讃え合う式典としたい」と挨拶。

続いて当所河村忠夫副会長が、「珠算連盟の方々によるボランティアでの珠算指導事業等は、各方面から高い評価を受けている。また、フラッシュ暗算を始めとした新規事業に取組む等、活発な活動が目立つ。今後の更なる飛躍を期待したい」と述べた。

日本珠算連盟勤続表彰の後、記念講話が行われ、日



名人位獲得までの軌跡と裏話を聴き出す中屋敷会長（左）。8連覇を達成した土屋名人（右）

本珠算連盟主催の珠算名人位決定戦で8連覇を達成した土屋宏明氏（つちやひろあき）へ、八珠連の中屋敷会長がインタビューする形式で実施。

最も大変だった対戦相手は、との中屋敷会長の問いかけに「全くの新人相手だ」とちよつと身構える。同じ塾の出身とか、何度か手合せしたことがある相手だと、手の内が読めるのでそれ程でもない」と回答。9連覇に向けての対策はと、中屋敷会長が水を向けると「私の好きな言葉に『挑戦』という言葉がある。名人戦が終了し2ヶ月。現在、9連覇、そして10連覇に向けて少しずつ意欲が湧いてきている。次なる目標に向かって、更に挑戦していきたい」と語った。

講話終了後には名人による7桁

の掛け算の模範実演が行われた。土屋名人は4分以内で全て回答。参加者は皆、一様に驚いていた。宮城県石巻市出身の土屋名人は、小学2年から珠算を開始。小学5年の時にグランプリのタイトルを獲得。この時から日本一を目指し始め、平成18年に初めて優勝。以後、連続8年間、日本一の栄冠に輝き続けている。

記念講話終了後は、記念祝賀会が開催され、40年目の節目を祝い合っていた。

日本珠算連盟勤続表彰受賞者は次の通り（順不同、敬称略）

- 【勤続40年表彰】
- ▽亀本光雄▽和田ハルエ▽及川義明▽小笠原春江▽小笠原郁子
- ▽勤続20年表彰】
- ▽森由美子



日珠連の勤続表彰を受けられた皆様